

平成16年度総合型地域スポーツクラブ育成推進事業 先進総合型地域スポーツクラブ実態調査ヒアリングシート

【基礎データ】					
フリガナ	つるおかしみんけんこうすぽーつくらぶ				
クラブ名	鶴岡市民健康スポーツクラブ				
活動地域	山形都・道 府・県		鶴岡市・区 町・村		地区
市区町村の人口	98,889 名	クラブ設立年	1966 年	クラブ会員数	971 名
当該地域の小学校の数と児童数			21 校	5,841 名	
当該地域の中学校の数と生徒数			6 校	3,141 名	
主な活動スポーツ種目	15種目（24コース）				
フリガナ	トガシ マサトミ		クラブでの役職名	理事長	
クラブ代表者名	富 樫 正 富				

【1. クラブの歴史】

(1) 創設年	1996年4月
(2) 創設期における当該地域のスポーツの一般的な状況	<p>各種競技団体・愛好会によるスポーツ人口は多いほうだと思う。行政施策としても「健康づくり」事業に積極的に取り組んでいたため、市民のスポーツ（特に生涯スポーツ）意識は高い方だった。</p>

【2. クラブの一般的特徴】

(3) 過去3～5年ぐらいの会員数の推移（学校区別）						
・2000年	区・ 名/	区・ 名/	区・ 名/合計	区・ 467	名	
・2001年	区・ 名/	区・ 名/	区・ 名/合計	区・ 651	名	
・2002年	区・ 名/	区・ 名/	区・ 名/合計	区・ 777	名	
・2003年	区・ 名/	区・ 名/	区・ 名/合計	区・ 913	名	
・2004年	区・ 名/	区・ 名/	区・ 名/合計	区・ 971	名	
(4) 活動種目の内容と数						
<p>軽スポーツ・エロピクス・ストレッチ&ダンベル・ラージボール・グラウンドゴルフ・健康体操・社交ダンス・水泳・親子いきいき運動広場・キッズ体操・新体操・器械体操・ジュニア陸上・ジュニアテニス・サッカー</p>						
(5) 活動圏域（校区等の特徴）						
鶴岡市全域						

(6) 定期的な活動内容

15種目（24コース）各々週1回の活動。内容については、担当指導員がプログラムする。

(7) イベント等の不定期的な活動の特徴

1. クラブ会員による自主交流パーティー
2. クラブ会員・一般市民を対象にした健康ツアー（ハイキングやウォーキングを取り入れて）
3. ジュニア対象のスポーツランド

【3. キーパーソンの属性】

(8) キーパーソン(指導者)の人柄(さらりと特徴的なこと)

明るく元気

(9) なぜ故に総合クラブをつくらうとしたのか

- ・全ての人々に、健康で楽しく豊かな人生を送ってほしいこと、活力ある地域づくり、子供の基礎体力向上と勇気、元気な子供を育てる場の提供
- ・あまりスポーツに親しんでいない人（特に中高年）にも楽しんでもらえるようなスポーツを企画する。

(10) そこには自分自身のスポーツ経験とどのような関連があるのか

健康が土台になって、人間交流の幅が広がり、人生が楽しい。

【4. クラブの意思決定機関】

(11) 創設メンバーの肩書き

鶴岡体育協会会長、鶴岡市体育指導委員会会長・副会長、鶴岡水泳連盟会長、鶴岡市小・中学校校長会、鶴岡市コミュニティー会長代表、鶴岡市スポーツ振興審議会会長、鶴岡市保健衛生推進委員会会長、鶴岡市食生活改善推進委員会会長、鶴岡市レクリエーション協会会長、クラブ会員代表、クラブ指導員、行政

(12) いつ、どこで
理事会、総会
(13) どんな人たちによって
理事、正会員
(14) どんな内容を決定しているのか
運営方針、活動方針
(15) 意志決定をスムーズにするための工夫
常にクラブ会員が楽しく活動できるようにと心がける

【5. クラブの組織体制と財政規模】

(16) 組織体制の特徴と配置スタッフ数
正会員から理事を選出。組織体制はこれからの課題です
(17) 組織体制づくりにあたって当該地域において配慮したこと
(18) 組織体制づくりにあたって工夫したこと（特徴点）

(19) 会費及び財政規模とその支出内容（16年度予算）
ア）自主財源の獲得状況（会費や寄付金を含む）
1,792万円（クラブ参加会費1,448万円・市補助（toto含）344万円）
イ）財政規模とその主な支出内容
ウ）委託事業(行政等)の有無と今後の期待（指定管理者制度導入を見据えて）

【6. クラブ理念の確立に向けて】

(20) クラブの目的と理念についての考え方
地域の乳幼児から中高齢者、生涯の有無などの関わらず、すべての人が、スポーツに関する活動を通してスポーツ文化の振興並びにスポーツの普及、育成、指導力の向上に関する事業を行い、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するとともに、活力ある心豊かな街づくりの推進に寄与することを目的とする。
(21) 当該地域における当該クラブの位置づけ
市民の健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりの場として重要な役割の一部を担う場の提供に努めている
(22) 当該クラブの将来展望（夢のようなもの）
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツとアスリート育成の両方が充実したクラブづくり（ジュニアコースから世界にチャレンジする選手育成や、中高年が各種大会に参加する楽しさを育てる） ・独自の体育館も欲しい・クラブハウスの所持

【7. 活動拠点の運営とその利用状況】

(23) クラブハウス・事務所の有無 有る場合はその概要（住所や所有権など）
無し
(24) 練習・活動拠点 当該地域における拠点施設の特徴(立地条件、所有権、運営主体など)
鶴岡市所有の公共施設
(25) 拠点施設の利便性とその矛盾（困っていること等）
・活動施設については恵まれていると思うが、活動日数をもう少し多くしたい ・交通機関が不便・雨天時と冬期間の活動の確保
(26) 当該地域における公的スポーツ施設（学校を含む）数
37ヶ所

【8. 関係団体との連携と協力体制】

(27) 小学校・中学校との連携（具体的に）
募集案内の配布による参加よびかけ
(28) 具体的な連携対象団体とその内容（人、金、事業等）
鶴岡市卓球協会、鶴岡市グラウンドゴルフ協会、鶴岡水泳連盟、鶴岡陸上連盟、鶴岡テニス協会、鶴岡フィットネス協会、鶴岡市体育指導委員会、鶴岡市レクリエーション協会、田川地区体操協会 コース指導者推薦、1コース1回500円
(29) 協力体制確立のための工夫と成功要因
総合型地域スポーツクラブに対する理解と情熱
(30) 協力体制確立のためにやってはいけないこと（想定される失敗するケース）

(31) 関係団体がクラブに協力・協働する際の具体的メリット

有資格者の活用

【9. 会員・指導者獲得のための事業の工夫】

(32) 会員獲得&指導者獲得のための工夫と成功例

市民のニーズにそった企画、初心者も安心して参加できる内容

(33) 会員獲得&指導者獲得のためにやってはいけないこと（失敗例）

(34) くじ助成等助成金・補助金によって行った事業・行おうとしている事業の内容

通常活動に必要な備品の充実・クラブマネジャー（1名分）の給与

(35) 助成金・補助金による事業の成果（予想される成果も含めて）

【10. クラブ創設期・成長期の特徴】

(36) 創設期の組織体制と成長期の組織体制の違い

行政主導による創設スタート。現在はほぼ自主運営で活動している

(37) クラブの運営状況が発展してきたその理由

参加会員の健康意識の高まりと初心者から多種目の内容を楽しめる企画に努めてきた

(38) 成功したと思われる決定的な要因

(39) 今後、日本体育協会に対してどのような支援を望むか

(40) 現在、悩んでいること、困っていること

ご協力、ありがとうございました。